

大田原市いきいきクラブだより

= 第31号 =

発行日 平成29年3月1日 発行者 大田原市いきいきクラブ 印刷所 新宮印刷(株)



(平成28年5月13日 第1回役員会)

大田原市いきいきクラブ 第五十三回 定期総会開催

平成二十八年四月二十一日、市総合文化会館において、大田原市いきいきクラブ第五十三回定期総会が、各地区の会長さん会員さんをはじめ、ご来賓の方々を迎え、盛大に開催されました。

総会では、次の方々とクラブが表彰されました。

〔功労者表彰〕

五年 越井 桂一氏

十年 五江渕 信一郎氏

〔クラブ表彰〕

五十周年 (昭和四十一年設立)

赤堀西幸の会 神明町長寿会

南金丸東部百寿会

総会で決定された行事は、いきいきクラブ役員の方々を中心に各地区のご協力をいただき、円滑に推進されました。

今年度の役員は次の方々でした。

会長理事 木村 章穂 会計理事 鳥羽 健児

副会長理事 若林 明 理事 事

五江渕信一郎 生田目慶一・鈴木 征一

工藤 明 石井小夜子・大川 宏

平野 秀雄 樋山かほる・中世古幸子

高崎 清一 菊池 智子・渡邊エツ子

遅沢 泰三 土谷 幸子・川又 金蔵

(女性部長兼任) 増渕 芳子 代表監事 古谷 善市

総務理事 越井 桂一 監 事 井上 正男



いつまでも元気で長生きを

保健福祉部長 岩井 芳朗

今年度、大田原市では19人の方が100歳を迎えられ、100歳以上の人口は52人となりました。その中には要介護・要支援認定を受けることなくご自宅で元気に過ごされている方もいらっしゃいます。全国でも100歳以上の高齢者の人口は65,692人と過去最多となっており、いつまでも元気で長生きであることは大変素晴らしいことでもあります。

一方で、国勢調査の結果、日本の人口は1920年の調査開始以来、初めて減少となりました。大田原市の人口も平成28年10月1日現在72,581人で、昨年度の72,929人から約350人減少しております。全国的にも人口は減少しており、今後介護が必要になった時に、介護をする人手が不足することが懸念されております。いつまでも元気で長生きであるために、要介護状態とならないよう日頃から予防に努めることが大切です。

介護状態にならないための予防と言うと難しく感じるかもしれませんが、外出する、人と会って話をする、それだけで介護の予防になります。外に出れば、筋力低下が防げますし、人と話をすれば認知症予防につながりま

す。友人や仲間たちと楽しい時間を過ごすだけで、介護予防になるのです。

いきいきクラブの活動は、そんな介護予防に大きな役割を果たしております。日頃から皆様がクラブの友人、仲間としているグラウンド・ゴルフやダンスといった運動や文化活動、奉仕活動は刺激となり、いつまでも心と身体を元気にしてくれます。

市はそんな素晴らしい、いきいきクラブが今後も活動を続けていけますよう、これからも継続して支援してまいります。また、全国的にいきいきクラブの数、会員数が年々減少してきている状況でありますので市といたしましてもいきいきクラブと連携し、会員の確保に努めてまいりたいと考えております。

会員の皆様におかれましては、地域でクラブ活動に興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひ仲間に加えていただき、より盛んなクラブ活動をしていただければと思います。そして、これからもどうぞいつまでも充実した活動をしていただけますようお願いいたします。

皆様がいつまでもお元気で過ごされますようご祈念申し上げます。

一斉社会奉仕の日

老人クラブでは、毎年6月15日(県民の日)及び9月20日(全国一斉奉仕の日)の年2回を定め、県下一斉に奉仕活動に取り組んでおります。

各クラブは、公共施設の清掃・美化・緑化、生活道路・空地を利用した花壇作り、道路の除草・草刈り・空カン拾い、福祉施設への慰問等、様々な社会奉仕活動で地域社会に積極的に貢献してシルバーパワーを発揮されています。6月15日実施分は片府田老人クラブ、9月20日実施分は須佐木志茂いきいきクラブの活動写真を代表的な写真として県老連に提出させて頂きました。(尚、写真は作業中もしくは作業終了後がわかるものを中心に選ばせて頂いております。)



宇田川長寿会



須賀川老人クラブ



わらぼっち・多賀



榎木沢いきいきクラブ



中野内松寿会



加治屋長寿会



大手睦会



蛭畑福寿会



薄葉第一いきいきクラブ

市いきいきクラブ 第24回ペタンク大会 第32回輪投げ大会開催 グラウンド・ゴルフ大会

平成28年5月25日(水)第二球場にてペタンク大会。6月17日(金)県北体育館にて輪投げ大会。
また、7月14日(木)黒羽運動公園にてグラウンド・ゴルフ大会が開催されました。いずれの大会も各
地区から多くのチームが参加し、県大会を目指して熱戦が繰り広げられました。結果は次の通りです。

◎ペタンク大会(参加29チーム)

- 優勝 宇田川長寿会
- 準優勝 川上老人クラブ
- 第三位 鹿畑寿会

◎輪投げ大会(参加33チーム)

- 優勝 須佐木志茂老人クラブ
- 準優勝 寺町寿楽会
- 第三位 加治屋長寿会

◎グラウンド・ゴルフ大会(参加34チーム)

- 優勝 西原高齢部
- 準優勝 赤堀西幸の会
- 第三位 蛭畑

*グラウンド・ゴルフ個人賞森田杯

- (男子)
- 優勝 深沢 繁治(薄葉第二)
 - 準優勝 鈴木 多喜(西原)
 - 第三位 小野 功(赤堀西)
- (女子)
- 優勝 栗原 郁代(西原)
 - 準優勝 佐藤 光代(野崎東町)
 - 第三位 酒井 則子(あおば)

グラウンド・ゴルフ



優勝 西原高齢部

輪投げ



優勝 須佐木志茂いきいきクラブ

ペタンク



優勝 宇田川長寿会



準優勝 赤堀西幸の会



準優勝 寺町寿楽会



準優勝 川上老人クラブ

県大会出場

大田原市代表チーム

- ペタンク… 宇田川長寿会
- 輪投げ… 須佐木志茂(2チーム) 寺町寿楽会
- グラウンド・ゴルフ… 西原高齢部



鈴木多喜さん



佐藤光代さん



深沢繁治さん

グラウンド・ゴルフ
個人入賞の方々

栃木県老人クラブ大会



平成二十八年九月八日(木)、栃木県教育会館にて第三十回栃木県老人クラブ大会が開催されました。

今年、県の文化会館が工事中で、会場は都合もあり、午前が老人クラブ大会、午後が県サークル発表大会という日程でしたので、二十二名での参加でした。

老人クラブ育成功労者表彰を、市老連理事の増渕芳子氏が、優良老人クラブ表彰を中薄葉いきいきクラブ(宇梶功会長)が受賞いたしました。

増渕芳子氏は、平成二十一年に花園親和会に入会されると同時に、女性部長を

務められるとともに、市老連理事となり、平成二十八年度より、市老連女性部長として貢献されています。

また、中薄葉いきいきクラブは、昭和三十八年設立以来、スポーツ、奉仕、友愛のいずれも積極的な活動を継続しています。

加入促進運動においては、プラス十人増または二十%以上会員が増加したクラブとして、南金丸東部百寿会・宇田川長寿会・薄葉第二いきいきクラブ・木佐美喜楽会が表彰されました。

受賞された皆様、おめでとうございます。

育成功労者表彰



いきいきクラブ理事
増渕芳子さん

優良老人クラブ表彰



中薄葉いきいきクラブ
宇梶 功会長

第22回

栃木県民福祉のつどい

平成二十七年八月二十六日(金)、栃木県総合文化センターにて、第二十二回栃木県民福祉のつどいが開催され、野崎地区の上薄葉わかさ会(秋澤薫会長)が優良老人クラブとして、知事表彰を受賞いたしました。受賞式には、会長他、池田弘氏、阿美求氏も出席してくださいました。

上薄葉わかさ会は、昭和三十八年設立以来、活発に活動を継続し、平成十六年に栃木県老人クラブ連合会長表彰を受けました。その後も十年以上に渡り活発な活動を続け、現在もその運営に対する努力や内容が模範となっていると認められました。

健康管理に重点をおき、各種スポーツ大会へ積極的に参加し、更に社会奉仕活動も欠かさず行っています。夏祭りや小学生との交流会など地域密接な活動もし、交流が十分にとれているため、地域の保安にも協力しています。

上薄葉わかさ会の皆様、受賞おめでとうございます。



上薄葉わかさ会の皆様

女性部一日研修会



平成二十八年九月五日(月)、大田原市福祉センター研修室において、女性部一日研修会が開催されました。

今年、各地区から参加された二十五名で、七宝焼きを作りました。初めは、とまどいながらも、皆さん、色々な手法で、素晴らしい作品を作り上げていました。



佐藤育子先生(右)
佐藤笑美子先生(左)
に教えていただきました。



いきいきクラブ 第四十五回ゲートボール大会

平成二十八年九月二十六日(月)、蛇尾川緑地公園にて、第四十五回ゲートボール大会が開催されました。

当日は秋晴れのスポーツ日和で、各チーム共、集中力とチームワークを発揮して、一日プレーを楽しみました。

〈ゲートボール大会参加15チーム〉

- 優勝 野崎東町B
- 準優勝 野崎東町A
- 第三位 露久保B



▶優勝 野崎東町B



▶準優勝 野崎東町A

県老人クラブスポーツ大会

平成二十八年十月十三日(木)、真岡市井頭軟式野球場にて、県老人クラブスポーツ大会が開催されました。

今大会には、県内からグラウンド・ゴルフ大会に二十七チーム、輪投げ大会に五十六チーム、ペタンク大会に二十三チームの代表チームが参加しました。大田原市いきいきクラブからも代表四チームが参加し、惜しくも入賞は逃しましたが、各チームともに健闘しました。(代表チームは、本誌三ページを参照)



(グラウンド・ゴルフ) 西原高齢部



(輪投げ) 寺町寿楽会



いきいきクラブ第15回サークル活動発表大会開催

平成28年10月19日(水)、市総合文化会館にて、「第15回サークル活動発表大会」が250名の参加者でにぎやかに開催されました。

各地区、色々な趣向を凝らし発表して下さる姿は、“感動”だけではなく、皆に勇気を与えました。

今年は飛び入り参加があり、場を一層盛り上げて下さいました。

全員合唱では、中村輝子先生の指揮で、ぴたりと合った歌声が響き渡り、会場がひとつになりました。



(親園) おどり「親園草刈り踊り(唄)」
代表 村上ヤエさん(8名)



(両郷) おどり「日光和楽おどり」「水の黒羽」
代表 渡邊エツ子さん(11名)



(川西) フラダンス「ハワイアン ウェディングソング」「フラガール 虹」
代表 五月女タミさん(7名)



(金田) おどり「野州笠踊り」
代表 樋山かほるさん(11名)



(須賀川) おどり「河内男ぶし」「百歳音頭」
代表 土谷幸子さん(12名)



(野崎) フラダンス「バリバリの浜辺」「レファナニ」
代表 龍至秀子さん(10名)



(大田原) おどり「スカイツリー音頭」「きよしのズンドコ節」
代表 石井小夜子さん(10名)



(野崎) 飛び入りで「安来節」
笹沼初江さん



(大田原) コーラス「エーデルワイス」「広い河の岸辺」「天までとどけ」
代表 伊藤和子さん(23名)
〔指揮・中村輝子先生 ピアノ伴奏・中山美代子先生〕



「もみじ」「ふるさと」 会場の皆さんと合唱

〈赤い羽根共同募金について〉

- ◎ 市いきいきクラブ
第45回ゲートボール大会 2,590円
- ◎ 市いきいきクラブ
第15回サークル活動発表大会 17,967円
市社会福祉協議会に合わせて20,557円の募金をお渡し出来ました。皆様のご協力、本当にありがとうございました。

〈熊本地震災害救援募金について〉

- ◎ 2,000円×52クラブ 104,000円
 - ◎ 第32回輪投げ大会 9,907円
 - ◎ 第24回グラウンドゴルフ大会 2,058円
- 熊本県老連に合わせて116,505円の募金(送金手数料540円を含む)を送金することができました。
ご協力、本当にありがとうございました。



第二十回 県老人クラブサークル大会

平成二十八年九月八日(木)、栃木県教育会館にて、第二十回県老人クラブサークル活動発表大会が開催されました。金田地区(五江渕信一郎会長・他十名)が、「島のブルース」を発表してくださいました。会長は自ら紹介文の中に、「じいさんが混じってます」と入れられたので、観客が探す楽しみも味わい、明るく楽しい会場となりました。

人生に停年なし

親園地区会長
いきいきクラブ総務理事
越井 桂 一さん
昭和5年3月20日生(87歳)



私の生まれは、会員の中には数多く居られると思いますが、昭和一ケタであります。一億総戦力と号令され、小学校上級生から高等科、中等学校生の殆んどが、戦力増強のために軍需工場に、或いは田畑で食糧の増産に必勝の日の丸鉢巻を締めて、男女区別なく働いた時代でした。

戦となり、張りつめていた戦闘意欲を失った人々の緊張感が戦後の混乱となって日本を覆い自暴自棄となり、思想の不統一、目標喪失、物質不足、食糧不足などが国内いたるところに表れました。やがて、マッカーサー指令なるものが随所に発令され、やっと国民の思想が落ち着きを取りもどすことが出来、日本再建の叫びが盛んになって来ました。昭和二十五年頃からの苦しみを跳ね返して、新しい生きる途を考え、造り上げて来たのも、この時代に一家の柱になって働き通して来たのが現代の高齢者である筈であり、日本再建の足並みが進み始めたのも清貧に甘んじ、労働を厭わなかった人達の力でありました。アメリカから脱脂粉乳ミルクが輸入されて栄養が保たれるようになって来たのを見て、乳牛を飼って牛乳生産の途を開いたり、機械を入れて田畑の生産を高めたりする研究や技術交換が盛んに行われたりして、より良い世の中になるために何が必要なのかと熱意溢れる若者が集まって研究するための生産集団、青年団、婦人の地位の向上を目的とした婦人会などが目的を持って活動を続け、全国的な組織が生まれた中から政治を目指す者なども数多く生まれてきました。

漸次必要な事柄を推し進める諸々の機関などが出現して、まさに高度成長の時代を迎えて来た訳であります。そして、生活も安定して来て、ホッと居る内に高齢化社会となり、なんだか生活して行くのが気の毒に感じる様な気のする世の中になってしまったのかなと思うことがあるこの頃です。子供に充分に与えることの出来なかつた時代でも親は子供のために身をけがして面倒を見ました。子供は親に孝行することが当然のことなのに。ところが今は社会が変化し、更には、子供に与える競争が激しさを増して居るためか、親の老後は社会まかせ、他人まかせになりつつある時代になって来ました。こんな風潮に屈してはならない。今までつくり上げて来た気力と経験を活かして、社会性の基本である真・善・美(何が正しいのか、何が良いのか、何が美しいのか)を見極めるために、健康のために、人生の励みのために、組織の中になければ出来ないことを進めて行きたいと思つて居ります。

市産業文化祭作品展示

平成二十八年十一月五日～六日(県北体育館)



上薄葉 横田フサ(94歳)作

原町 森トシ江(94歳)作

原町 藤田ヤイ(94歳)作

広報部よりお知らせ

第32号市いきいきクラブだよりは、平成30年3月上旬発行予定です。
いきいきクラブ事務局 大田原市浅香3-3578-17 福祉センター内 (TEL23-1855)
月・水・金の午前中に橋本がおりますので、ご用の方はお気軽にご連絡下さい。